

すわみつえ通信

No.312 2024年4月22日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL : 596-9440 FAX : 507-4151
携帯 : 080-5039-2785
E-mail : mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届け
たい声がある 声をかたちに

高齢者の暮らしと「医療・介護」を支える事業について学ぶ

文教福祉常任委員会委員は議会閉会中に市内の各施設を視察しています。12月議会後は、在宅医療を支える鴻巣医師会のお医者さんとの意見交換を行いました。懇談の中で「在宅医療連携センター」との意見交換を行うことも必要であり、さらに、医療と介護の複合型サービスを行う「看護小規模多機能型居宅介護事業所」の視察研修もすることになりました。4月17日に実施しました。

●鴻巣地区在宅医療連携センター

医療と介護に精通した「鴻巣訪問看護ステーション」のベテラン看護師がコーディネーターとして相談に応じてくれます。

「退院後は在宅で病状管理を行いながら暮らしたい」「訪問診療を受けたい」「食事が摂れないでの食事の形態や栄養の相談を受けたい」など、高齢者の在宅医療と介護の相談ができます。

所長のお話しさは、自分らしく生きたいと願う高齢者の尊厳を守り、いのちを見つめてきたゆるぎないものにあふれています。困っていることは、「訪問看護師の不足」「訪問時に駐車許可証を出しても道交法で違反になるなど駐車場所確保の困難」「介護保険での訪問看護報酬が医療保険と比べて低いこと」とのことでした。市で改善のための検討も必要だと感じました。

●看護小規模多機能型居宅介護

「最後まで自宅で暮らすための支援」を行うことを定義し、2024年4月1日にオープンした「里恋(りこ)」は、たけうちクリニック3階にあります。



竹内先生とケアマネジャーが施設の案内と説明をしてくださいました。鴻巣市で初めての新しい施設となります。要介護1~5で鴻巣市に住所がある方が対象です。既存の介護サービスとの大きな違いは、介護度によっての定額利用料金となることです。「訪問介護」「訪問看護」「通い(デイサービス)」「泊り(ショートステイ)」で必要なプランを計画することと合わせ、ご家族の休養のための部屋もあります。充実した医療体制で安心して在宅生活が送られると感じました。

楽しさは子どもの主食です～子どもの瞳輝く学校に～

野の花を愛せし夫れんげ草

[俳句コーナー]

恵子

「鴻巣の教育を考える会」が4月18日(木)吹上生涯学習センターで開催した大東文化大特任教授・渡辺恵津子さんのミニ講演と交流学習会に参加しました。渡辺さんは小学校の教員として長く教育の現場で子どもたちに接してきた豊富な見識をもち、現在は教師を目指す学生に教鞭をとっておられます。



さらに、埼玉県の事業「子どもの学習支援事業」で子どもたちの勉強をみておられます。

子どもの声は、統計の奥深くにある事実や、人とつながる場所としての学校、遊び、学び場としての学校だけでなく、安心の居場所を創出する場所としての学校を求めていました。大事なことは、「子どもたちの声を聴くこと」と「大人でしかできないことをする」とお話しされました。=2面に続きます=

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

鴻巣市では小中学校の統廃合の計画を着実に進めようとしています。そのためにお子さんの通学先を決めるにあたって大変悩まれていること、スクールバス登校には疑問があることなど、参加された保護者の方が発言されました。

今回の交流学習会は、教育の専門的見地から、また、保護者の方からの統廃合への声を伺うことができた大変有意義なものでした。活動に活かしていきます。



倉林明子
参議院議員

利用率に関係なく 今年12月に現行の健康保険証を廃止し、「マイナ保険証」に一本化 〈厚労相〉

武見敬三厚生労働相は4月18日の参院厚労委員会で、マイナンバーカードに健康保険証の機能を持たせた「マイナ保険証」の利用率に関係なく、今年12月に現行の健康保険証を廃止し、マイナ保険証に一本化すると述べた。政府は12月2日から健康保険証の新規発行を停止し、廃止すると既に決定している一方、今年3月のマイナ保険証利用率は5.47%と低迷している。

武見氏は、廃止後も最長1年間は現行の健康保険証を使える猶予期間があり、マイナ保険証を所有していない人には「資格確認書」が発行されると説明。「利用率にかかわらず、12月以降の医療機関受診に支障が生じるとは考えていない」と強調した。日本共産党の倉林明子氏への答弁。

(共同通信社 4月18日付)

少子化対策関連法案 衆院通過 医療保険料に上乗せ徴収

児童手当や育児休業給付を拡充する少子化対策関連法案は4月19日の衆院本会議で、自民、公明両党の賛成多数により可決され、衆院を通過した。財源確保のため公的医療保険料に上乗せして徴収する「子ども・子育て支援金」を26年度に創設する。参院での審議を経て今国会で成立の見通し。立憲民主、日本維新の会、日本共産党、国民民主など野党は「事実上の子育て増税だ」と反対している。



衆院本会議=19日午後、国会内

政府は社会保障費の歳出削減により「実質負担は生じない」と繰り返しているが、分かりにくいとの批判は根強い。参院審議では歳出削減の具体策や、実質負担ゼロとする根拠について、政府の説明が焦点となる。

保育サービスも拡充し、親の就労に関係なく預けられる「子ども誰でも通園制度」を設ける。
(共同通信社 4月19日付)。



岩手山に「ワシ形」出現 山頂付近で雪解け進む

岩手山（2038メートル）の山頂付近で雪解けが進み、山肌がワシの姿に見える「ワシ形」が現れた。

毎年4月上旬に雪解けとともに姿を現し、地域に春の訪れを告げる。羽を大きく広げたワシに見えることから別名「岩鷲山（がんじゅさん）とも呼ばれる。

盛岡市の夕顔瀬橋では4月12日、市民らが足を止め、青空に浮かぶ雄大な姿をカメラに収めた。左の写真2枚は雪解けが進み、山頂にワシ形が現れた岩手山=12日正午、盛岡市・夕顔瀬橋 (岩手日報 4月13日付)

